

**国防は最大の福祉である**  
初代会長 高橋季義



# 國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

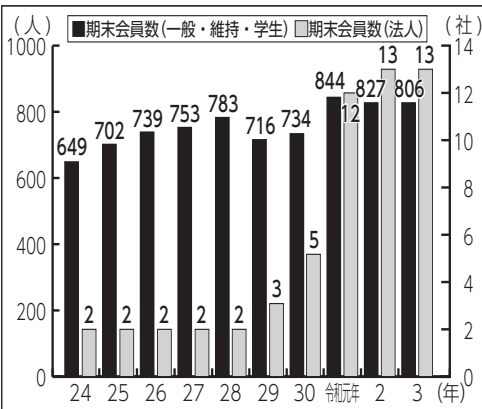
**関西防衛を支える会**  
(略称・関防会)

〒532-0011  
大阪市淀川区西中島4-3-4  
チサン第6新大阪310  
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869  
発行人 高橋忠義  
編集人 小野元裕  
印刷所 (株)新聞印刷

**第88号**

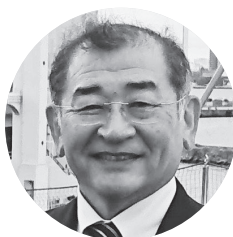
(夏季号)  
令和4年7月1日(金)  
(皇紀2682年)  
(大正紀元111年)  
(昭和紀元97年)  
(平成紀元34年)

## 過去10年間の会員数の推移(参考)



## 関西防衛を支える会

# 第25回定期総会開催



## 課題は防衛体制の見直し

関西防衛を支える会 会長 **高橋忠義**

さて、去る6月8日(日)に第25回定期総会を開催いたしました。お蔭をもちまして、中部方面総監をはじめ18人の部隊指揮官等、特

このような状況にあつて自衛隊が新型コロナウイルス関連の災害派遣をはじめ、中東方面での任務、日々の周辺地域の警戒監視、練度向上の訓練、教育など多々と任務を遂行し我が国の平和と独立を守っていた。このことに心から敬意と感謝の意を表したいと存じます。

このように、自衛隊が新型コロナウイルス関連の災害派遣をはじめ、中東方面での任務、日々の周辺地域の警戒監視、練度向上の訓練、教育など多々と任務を遂行し我が国の平和と独立を守っていた。このことに心から敬意と感謝の意を表したいと存じます。

新型コロナウイルスが感染拡大し始めてから2年半が過ぎ、ようやくゼロコロナ政策からウィズコロナ政策に移行されてきており、自衛隊のイベントも少しずつ再開されるようになってきました。関西防衛を支える会の活動も今年度は、ほぼ例年並みに実施できると見込んでおります。一方で、2月下旬にロシアがウクライナに侵略戦争をしかけたが、プーチンの思惑どおりいかす、ウクライナの必死の抵抗によって激しい戦闘が続いております。その結果、世界の安全保障環境は不安定化の様相を呈してきており、我が国にとっても防衛体制を見直さなければならない状況にあると思えます。

別顧問の国会議員11人(代理を含む)、防衛関係諸団体の皆様、約160人の会員のご出席を得て、総会・防衛講話を実施することができました。総会では、北部支隊長に浅尾守氏が承認され、北部支部の設立が認められました。6月16日(木)に舞鶴において発足総会を開催しましたが、詳細については次号に掲載します。今後、関西北部地域でも活発に活動してまいりますので、多くの会員に参加していただくことを存じます。なお、総会時に配布した総会資料(案)に不備があったことにアメリカの占領下で起案

7月10日投票の参議院選挙は安全保障が争点になっておりますが、特別顧問の

宇都隆史氏(比例)、石川博崇氏(大阪)、井上一徳氏(比例)、伊藤孝江氏(兵庫)、松川大介氏(大阪)、片山大介氏(兵庫)、(特別顧問就任順)

が改選を迎え選挙戦に臨んでおります。全員が引き続き国会において安全保障の問題に取り組んでいただければ幸いです。そして、選挙後は、特別顧問におかれましては、憲法改正をはじめ、自衛隊力の抜本的な強化、自衛隊員の処遇改善等、しっかりと腰を据えた議論を積み重ね、強固な防衛体制とそれに裏付けられた外交戦略をめざしていただきたいと思います。

たごを改めてお詫言申し上げます。

総会に続いて実施した防衛講話では、「国会議員に問う、我が国の安全保障の課題と展望」と題して前統合幕僚長の河野克俊氏の基調講演に引き続き、参議院議員宇都隆史氏、石川博崇氏、松川大介氏の3人にパネラーとして本音で議論していただきました。私が司会を務めましたが、特に印象に残ったことは、①専守防衛の考え方として、「必要最低限の態様」で攻めてくる敵に對峙することは極めて不自然である。いざ、防衛となれば全力をもってこれ

本紙2面に防衛講話の概要を載せておりますが、当日撮ったビデオのリンク先QRコードを掲載していただきます。

最後にになりましたが、今後とも当会に対するご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

## 自衛隊観艦式

[10月中旬]

海上自衛隊から詳細が発表され次第ご案内申し上げます。次の条件で参加者を募集します。

1. 現地ホテル集合 前日泊
2. 小学生4年生～32歳の青少年を同伴すること。

## 第7回 関西防衛を支える会 超豪華 大納涼大会

日時：8月21日(日) 11時45分～17時  
受付10時30分～  
場所：パセラリゾーツなんば道頓堀  
会費：6,500円(食事付き、飲み放題)  
カラオケ大会、大抽選大会  
山口采希ミニライブ  
詳細・申込はチラシをご覧ください

## 慰霊巡拝の旅

ガダルカナル島戦80年

諸般の事情により延期となりました。  
改めてご案内・募集を致します。

- ### 新役員紹介
- 特別顧問 中野 洋昌氏 (衆議院議員)
  - 特別顧問 岡下 昌平氏 (前衆議院議員)
  - 特別顧問 中司 宏氏 (衆議院議員)
  - 北部支隊長 浅尾 守氏
  - 総務部長 内藤 強志氏
  - 財務部長 高井 臣一氏
  - 財務副部長 岡野 慶司氏
  - 研修副部長 加藤 智久氏
  - 事業副部長 喜連川 昌子氏 (事務局次長兼任)
  - 事業部長 小山 みどり氏
  - 事業部副部長 佐伯 宗平氏 (兼任を解く)
  - 広報部長 中村 恵英氏
  - 理事 西山 夏生氏
  - 理事 山根 寿豊氏

## 関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内

(詳細は同封チラシをご覧ください)

日時 令和4年7月23日(土曜日) 午後4時から  
講師 南木隆治氏(南木倶楽部主宰)  
演題 「歴史から見た日本の近未来の可能性」  
会費 関防会会員5,000円、未会員6,000円、学生2,000円(食事代込み)  
講演のみ:関防会会員1,000円、未会員2,000円、学生無料  
会場 錦城閣 ☎06-6941-2185  
(地下鉄谷町線・京阪電車天満橋駅直上キャッスルホテル3F)

日時 令和4年10月1日(土曜日)  
講師 防衛大学校教授 大内研二氏  
防衛大学校准教授 中澤信一氏  
講話 2部制  
1部 13:30～14:30 中学生～32歳までの募集対象者向け  
「安全保障環境の現状と課題」(仮題)  
2部 15:30～16:30 会員、自衛隊員及び一般公募向け  
「法的側面からみた我が国防衛の課題」(仮題)  
場所 海上自衛隊舞鶴地方総監部 大講堂  
参加料 無料  
17:00～19:00 会場を移し、意見交換会を行う予定(参加費6,000円程度)

第98回

第99回

北部支部企画



第25回総会・防衛講話

国会議員に問う「我が国安全保障の課題と展望」

- 元統合幕僚長 河野克俊氏
- 参議院議員 宇都隆史氏
- 参議院議員 石川博崇氏
- 参議院議員 松川るい氏

基調講演



基調講演 QRコード



左から高橋忠義会長(司会)、河野克俊氏、宇都隆史氏、石川裕崇氏、松川るい氏

今回のウクライナ戦争は日本の安全保障に直接影響を及ぼしている。それは、これまで世界が信じて疑わなかった安全保障の前提が2つ崩壊したこと。

その一つがNPT体制(核兵器不拡散体制)の崩壊。北朝鮮の核保有に正当性を与えてしまったこと、二つ目は、核戦争に発展することを恐れて米国の軍事行動が抑制され、特に核抑止の環境が明確に変わったこと、核戦略に對し議論すべきである。議論の結果、引き続き非核3原則に則るといふ結論が出るかもしれないが、少なくとも議論はすべきである。

台湾有事について、中国は台湾併合に軍事力を使うという前提で議論すべき。ただし、軍事侵攻が可能な

という状況はあり得る。台湾有事は日本有事である。なぜなら、政治的理由として、中国自身が尖閣諸島は台湾に領有権があると主張しているからであり、尖閣だけを切り離して台湾に進攻する考えは、台湾に進攻する考えと同等である。ウクライナ侵略の構図は現象的にみれば、日本の距離的に極めて近い台湾で軍事行動が行われれば少なからず影響があるということである。

台湾有事があった場合、政府は「重要影響事態」存立危機事態「武力攻撃事態」を見極めることになる。9条に則って自衛隊が存在できるのは、自衛隊が9条2項の「陸海空軍及び戦力」以下であるという解釈であるからである。国際的にみても、この解釈は破綻しているのは明らかであり、このような状態を次の世代まで引き継ぐべきかというところである。

であり、国防のために行動する自衛隊の態様まで「必要最低限」と縛り付けることが9条の精神に則しているとは考えない。

憲法改正の自民党の提案している4つの改正のうち、この9条の改正だけは別格だと思っている。共産党の主張は「自衛隊は違憲であるが国民が要らない」というまでは、その存在を認め活用していくということであり、国民の多くが自衛隊を認めている今日、違憲論はとくに破綻している。一方、合憲論も破綻している。9条に則って自衛隊が存在できるのは、自衛隊が9条2項の「陸海空軍及び戦力」以下であるという解釈であるからである。国際的にみても、この解釈は破綻しているのは明らかであり、このような状態を次の世代まで引き継ぐべきかというところである。

力に自衛隊に保有させるべきである。統合防衛力を高めるため、陸・海・空自衛隊のC3(指揮・統制・通信)能力の統合を推進していく必要がある。まずはこの2点を強調したい。

石川 有事の私権制限について課題がある。例えば、私有地の使用であるとか、電波の使用といったことなど、具体的に整理しておく必要がある。また、私もC3の統合強化をすすめていく必要があると考える。

松川 地方自治体等の権限が弱すぎる。自衛隊が訓練をするのに自治体等の反対により訓練ができないことがある。自衛隊は自治体等にお金を払って訓練をしていくのが実態。「自衛隊の訓練に地方自治体は適切な処置を行う」といった根拠法規を制定すべきである。

司会 これから、安全保障のエキスパート4氏とともに3つの課題について議論を進めたい。政党を離れ国会議員個人の立場で思い切って発言されたい。まず、自衛隊の抱える課題と解決策について

河野 現役時代、防衛力整備に永年携わってきたが、防衛費の制約から正面装備に力を入れすぎて、隊員の処遇を含め後方支援経費を後回しにしてきたことが反省点としてある。

宇都 今まではすべてを米軍に頼ってきた敵基地反撃能力を自衛隊に保有させるべきである。統合防衛力を高めるため、陸・海・空自衛隊のC3(指揮・統制・通信)能力の統合を推進していく必要がある。まずはこの2点を強調したい。

人以上の乖離がある。この原因は一瞬でも定員が超えるると法律違反となるという防衛省の法律解釈であり、これを年間平均人員が超えないという解釈変更をすべき。

②寒冷地手当等を削って都心手当を増額してきたという反省に立って、これを見直して公平な手当てにしていくべき。

③任期制隊員が退職する際、自衛隊に捨てられたという印象を持って辞めていく隊員が少なからずいる。地方公務員に再就職できる制度を創設するなど処遇を改善すべき。

④若い人たちは転勤したくない人が多い。転勤を抑制する制度をすすめていくのが重要。

⑤現職がやらずに良い分野についてOBの活用を推進すべき。

司会 私の意見として、鳥インフルエンザの殺処分やワクチン接種センターなど自衛隊を便利屋に使うのは辞めてもらいたい。これは国会議員3人の宿題として持ち帰ってもらおう。

次に台湾有事について議論したい。中国に武力攻撃の手段を取らせない方策について外交防衛の観点から議論をしたい。

また、自衛官の社会的地位を向上させるのが大事。例えば、イスラエルのように軍事知識をもった軍出身の人材がサイバーの分野で活躍できるような新しいビジネスを作っていくべき。

石川 少子高齢化の中で、自衛官を確保していくための方策として、家族支援を充実していくことにより、子どもがいても安心して任務につける体制を作っていく必要がある。

力、日米を中心とする防衛力、とりわけ海を越えて陸軍戦力を進めようとするのに対し、どこから来るのか分からないという非対称な脅威、例えば原子力潜水艦などを整備し、平時から多くの同盟国とプレゼンスを示していることが重要である。日本も原子力潜水艦を持つのも良いと思う。

宇都 ウクライナ情勢で学ぶべきは、米国の早々に軍事介入しないということ。表明してしまっただけがロシアに軍事進軍を許したという点。

したがって、台湾情勢に關しては、米国の①日米安保条約第5条が適用される、②通常兵力の使用についても核を使用する、ということを常時発信させる外交を進めることが重要。

ウクライナは1国だけで戦ってはいない。1つは兵站作戦、もう1つは国民保護。これを台湾有事に多くの国々から支援を受けられるようにクワッド等様々な枠組みを通じて外交を進めていく必要がある。

河野 難しいとは思いますが、日米の台湾有事作戦計画策定に台湾軍を入れて策定していくかという点について、台湾に中国が侵略してきたとき、特に我が国に攻撃がなされる台湾にのみ進軍してきた場合に我が国の対応について聞きたい。

宇都 重要影響事態は、なかなか認定できないと思う。石川 重要事態が認定される前に、自衛隊の継戦能力

の強化、在台湾の5万人の邦人の出国や先島の住民の避難なども考慮しなければならぬ。

松川 中国はウクライナ情勢でしっかり学んでいる。中国はロシア以上に負けられない。したがって、心理作戦などあらゆる手段を駆使すると同時に圧倒的な戦力で攻めてくるという想定が必要。ウクライナから学ぶとすれば、先島諸島にシェルターなどないという問題についても考えておく必要がある。中国の動きを察知するインテリジェンス能力を保有すべきと考えられる。もっとも重要なのは、台湾自身が防衛力を上げていくこと。

宇都 中国はウクライナ情勢をしっかりと分析している。ロシアのように相手に準備を与えるようなことはしないであろう。したがって、兆候があつて段階的にエスカレーションしていくという想定はやめた方が良くと思う。一挙に最大兵力で攻め、初戦で勝利を得るというやり方をしていると考えるとおくべきである。

司会 憲法9条の改正について、政党の立場を越えて議論したい。

宇都 自民党の9条改正案は問題がある。なぜなら、自衛隊を憲法に書き込むことで、自衛隊の抱える根本的問題をそのまま固定してしまう恐れがあるからである。その問題とは、自衛隊が軍隊ではなく行政機関にすぎないということ。私は、2項の後ろに「前項の規定は自衛隊の行使を妨げない」と書き入れるだけで良いと提案している。

石川 これまで、憲法審査

会でまったくと言ってよいほど議論がなされてこなかったが、ようやく議論できるようになったことは評価したい。個人的には、自衛隊が憲法違反という学者が数多くいるということには解消すべき。憲法9条の改正に賛成できる案を提示すべきだと考える。

松川 現実的なのは、自衛隊明記であろう。現状、憲法9条改正に反対しているのは立民と共産だけであるから、今こそ改正すべきだとと思う。大事なことは国民の世論を待つのではなく、政治が主導して世論を形成していくこと。前文の「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しよう」という他力本願的な考え方は破棄すべき。

河野 警察の延長として創設されたという経緯から自衛隊が行政組織となっており、国防組織としての根本的な問題がここにある。だから、自衛隊はやっていいことだけを規定されておき、それ以外はできない。諸外国の軍隊はやってはいけないことを規定し、それ以外は何でもできる。そうでなければ国の防衛はできない。ピンラディンを殺害するのにも米国大統領の命令でできるが、仮に自衛隊がこれをやるとなるとピンラディン殺害特別措置法を制定しなければならぬ。したがって、理想論を言うならば、憲法に行政組織とは別に軍隊を規定し、軍が国防をつかさどるということを書かなければならないと考える。

パネルディスカッション



パネルディスカッション QRコード

司会 これから、安全保障のエキスパート4氏とともに3つの課題について議論を進めたい。政党を離れ国会議員個人の立場で思い切って発言されたい。まず、自衛隊の抱える課題と解決策について

河野 現役時代、防衛力整備に永年携わってきたが、防衛費の制約から正面装備に力を入れすぎて、隊員の処遇を含め後方支援経費を後回しにしてきたことが反省点としてある。

宇都 今まではすべてを米軍に頼ってきた敵基地反撃能力を自衛隊に保有させるべきである。統合防衛力を高めるため、陸・海・空自衛隊のC3(指揮・統制・通信)能力の統合を推進していく必要がある。まずはこの2点を強調したい。

石川 有事の私権制限について課題がある。例えば、私有地の使用であるとか、電波の使用といったことなど、具体的に整理しておく必要がある。また、私もC3の統合強化をすすめていく必要があると考える。

松川 地方自治体等の権限が弱すぎる。自衛隊が訓練をするのに自治体等の反対により訓練ができないことがある。自衛隊は自治体等にお金を払って訓練をしていくのが実態。「自衛隊の訓練に地方自治体は適切な処置を行う」といった根拠法規を制定すべきである。

司会 私の意見として、鳥インフルエンザの殺処分やワクチン接種センターなど自衛隊を便利屋に使うのは辞めてもらいたい。これは国会議員3人の宿題として持ち帰ってもらおう。

次に台湾有事について議論したい。中国に武力攻撃の手段を取らせない方策について外交防衛の観点から議論をしたい。

また、自衛官の社会的地位を向上させるのが大事。例えば、イスラエルのように軍事知識をもった軍出身の人材がサイバーの分野で活躍できるような新しいビジネスを作っていくべき。

石川 少子高齢化の中で、自衛官を確保していくための方策として、家族支援を充実していくことにより、子どもがいても安心して任務につける体制を作っていく必要がある。

司会 これから、安全保障のエキスパート4氏とともに3つの課題について議論を進めたい。政党を離れ国会議員個人の立場で思い切って発言されたい。まず、自衛隊の抱える課題と解決策について

河野 現役時代、防衛力整備に永年携わってきたが、防衛費の制約から正面装備に力を入れすぎて、隊員の処遇を含め後方支援経費を後回しにしてきたことが反省点としてある。

宇都 今まではすべてを米軍に頼ってきた敵基地反撃能力を自衛隊に保有させるべきである。統合防衛力を高めるため、陸・海・空自衛隊のC3(指揮・統制・通信)能力の統合を推進していく必要がある。まずはこの2点を強調したい。

石川 有事の私権制限について課題がある。例えば、私有地の使用であるとか、電波の使用といったことなど、具体的に整理しておく必要がある。また、私もC3の統合強化をすすめていく必要があると考える。

松川 地方自治体等の権限が弱すぎる。自衛隊が訓練をするのに自治体等の反対により訓練ができないことがある。自衛隊は自治体等にお金を払って訓練をしていくのが実態。「自衛隊の訓練に地方自治体は適切な処置を行う」といった根拠法規を制定すべきである。

司会 私の意見として、鳥インフルエンザの殺処分やワクチン接種センターなど自衛隊を便利屋に使うのは辞めてもらいたい。これは国会議員3人の宿題として持ち帰ってもらおう。

次に台湾有事について議論したい。中国に武力攻撃の手段を取らせない方策について外交防衛の観点から議論をしたい。

また、自衛官の社会的地位を向上させるのが大事。例えば、イスラエルのように軍事知識をもった軍出身の人材がサイバーの分野で活躍できるような新しいビジネスを作っていくべき。

石川 少子高齢化の中で、自衛官を確保していくための方策として、家族支援を充実していくことにより、子どもがいても安心して任務につける体制を作っていく必要がある。



歴史勉強会

中島サロン

第96回 4月2日

錦城閣

現在の中部方面隊・第3師団の前身が第3管区隊としてその初代総監が大森寛さんでした。千僧駐屯地広報幹部時代に大森総監の回顧録(※1)と出会い、そしてその貴重な記録と内容に感動し、そこから拡がった取材資料は自衛隊の神代時代すなわち警察予備隊誕生時に、近畿の部隊誕生の経緯を知るきっかけとなりました。私の勤務経験のある偵察隊も舞鶴でどのように誕生したか知る結果となりました。広報に携わるものとして聖書のようなものと言って過言ではないと思います。

サが吉田総理に宛てた指令が出ましたが(新聞記事スライドを示して)「(※2)警察予備隊を拡充強化し、創設を許可する」と書かれています。かねてから予備隊創設反対を主張していたマッカーサーが面子を保とうとした彼らしい表現と横地光明氏(元東北方面隊)も本(※3)に書いておられました。

警察予備隊(軍隊)創設したものの、これがまた大変なことが現場では起こっていたようです。まず入隊資格は満20歳・35歳男子等々旧制中学卒業は18歳以上、身長156cm以上で健康、待遇俸給5千円、勤務2年と募集(翌年は独身者が付け加えられた)され、当初合格者は25年8月下旬入隊したのですが、引き続いて防衛大学校長に就任されています。制服組が学校長になられたのは大変珍しいのではないのでしょうか。また人物像ですが、所謂「人物」だったそうです。現役中に千僧にお住いの当時副官K氏から総監はとにかく現場主義で管区内を毎日巡回・巡視をさせられていたと、大森さんのお話、警察予備隊・保安隊時代の話を聞いていただきました。今も宝物です。

関西の警察予備隊誕生秘話

元陸上自衛官 関西防衛を支える会会員 小林一吉氏



隊、警察あるいは進駐軍のトラックで行先も告げられず第3管区内の14カ所に「突っ込まれた」(当時の隊員の表現)のです。俸給も10月によりやく全額ではなく一部を、また地方では一部ドルで支払われ結局年末に月額4千5百円です。隊員の中には家族を養うために葉の弊害、訓練のやり方に気に入らない者等々、退職者も多く出て緊急募集まで始まりました。入隊者は今でいう全員2等陸士、幹部はただ江田島・越中島(東京)で教育中でした。

国もGHQも昭和26年5月1日の編成完結に間に合うよう必死だったのです。特に第3管区隊は本丸である総監部が決まるのが一番遅く総監以下大変な焦りと緊張感だったと推測されます。しかし、隊員募集は始まり各所で訓練も開始されていました。舞鶴は海軍の街で有名ですが警察予備隊員6千500人が駐屯、当時の引揚援護局(平地区)・現舞鶴教育隊(松ヶ崎地区)の2カ所に駐屯してました。引揚げが中断していた間です。(スライドで当時の写真と現在の写真を比較紹介)この舞鶴で創設した某部隊の先任陸曹の手記が昨年発見されましたので一部紹介すると、入隊当初、戦争への嫌悪感と戦争指導者への怨嗟が甚に満ちている状態、外出時「6万円」(2年満期の退職金)が歩くと隘口を聞かされる。隊内の混乱(米軍との関係・俸給など)と矛盾が拍車をかけ、自暴自棄、酒色へ走る、退職希望者増加。しかし時間とともに、適正生存・階級

の付与・幹部の配置・出行(災害派遣)の活躍により訓練の徹底、規定規律の履行に格段の進歩を見せ、世論の予備隊に対する認識は逐次改善されてきた。と隊員自筆のことが書かれていました。

「国防とは国境の防衛を意味しない。敵を討つて城下の警いをなさしむるの實力を備えて初めて国防の意義がある」 当然のことですが日本の防衛も自衛隊任せではため、法整備・政治・国民の愛国心・団結を整えなければ意味がないと、我々含め防衛協力諸団体も正しい歴史認識の下、防衛思想の普及に頑張っています。

※1:「二七を回顧して」予備隊弘報紙(昭和27年8月号) ※2:「舞鶴ふるさと発見館」所蔵記事 ※3:「自衛隊創設の苦悩その実相と宿痾」勉誠出版 ※4:「いたみテ」54号 第3施設大隊施設班長 田中3佐(故人) ※5:「郷土研究」伊丹」昭和11年6〜9月号

歴史勉強会 中島サロン

第97回 6月4日 錦城閣

は千僧駐屯地も同様(隊友会会員の証言)です。 総監は昭和26年4月宇治から伊丹に移駐、市民主催の歓迎式典が緑ヶ丘公園で。千僧へ移駐してきた第3施設大隊は昭和27年1月、国鉄伊丹駅で市長はじめ大歓迎を受け列車から降りる前、余りにも多くの市民が集まっていたので皇族の出入を断るのかと思つたほどでした。

警察予備隊の各部隊が自立して訓練できたのは昭和27年4月言わずと知れた主権回復の日「対日平和条約」からです。今お話ししたそれ以前の予備隊の写真がほとんど残っていないのもその理由と聞きます。当時の隊員から聞いた話で写真撮影は主に米軍顧問団で予備隊が写真を撮影しても検閲され手戻るのは米軍が写っていない写真が返されたということでした。したがって各駐屯地・自治体に警察予備隊とわけて対日平和条約前の写真は珍しいものとなっています。

結びに先ほど千波少将の難攻不落の有岡城も城内の混乱に乗じて、内通者などにより敵(信長軍)の攻め入るスキを与えて守れなかった教訓からこのような故事(出所不明)を引用されたので紹介いたします。

地震後、淀川を管轄する高槻署の署長になった平成9年の防災訓練の打ち合わせには制服自衛官がズラッといた。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

自衛隊と警察の元高官が語る阪神淡路大震災

元大阪府警視正 関西防衛を支える会顧問 大道欣孝氏

元中部方面総監 松島悠佐氏

元大阪府警視正 関西防衛を支える会顧問 大道欣孝氏



左から松島元総監、高橋会長、大道顧問

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。

「私が大和川を管轄する警察署の署長だった平成4年の水防訓練の打ち合わせには警察と消防、水防団、だけで、そこに自衛隊という存在はなかった。





粛々に行われた法要

元陸上自衛官で丸20年勤務で退職しました東野と申します。 令和4年4月29日、高野山奥の院で執り行われた昭和殉難者法務死追悼・年次法要に参加いたしました。 往路のバスでは、先の大戦で今日の平和な日本の礎となるべく奮闘した方々に対する追悼と本法要執行に至る経緯などを高橋会長に詳しく解説いただき、現職の頃には深く学ばなかった歴史背景や真実を知り、改めて広く周知されねばならないと実感いたしました。 法要は、雨によって清浄化された空気なのか、祭主である関西儒行会会長並びに、昭和殉難者法務死追悼碑を守る会会長の進行の元、高野山真言宗管長 総本山金剛峯寺座主、葛西光義院下のお導きにより粛々と執り行われました。 参列中は、現職の頃に有事があったらならばこうなっていたのだろうかという考えが自然と巡り、高揚して肌粟立つ

### 昭和殉難者法務死追悼・年次法要

法要終了後は、法要の粛々とした雰囲気から和やかな観光行事へと変わり、お昼には関西学生会員のご実家である松栄堂さんに観光バスを横付けして、豪華な特製弁当をいただいたり、名物のかるかや餅などたくさんのお土産物もおまけ付きで購入させていただき、関防会の方々の大歓迎に驚きました。 帰りの車内では、なにわ観光社長からお酒などが振る舞われ、小山みどりさんによる地元和歌山の案内やレアクラブがもたらした高橋忠義会長とのじゃんけん大会など、楽しいイベント目白押しで終始楽しい時間を過ごしました。 今回初めての行事参加でしたが、関防会の本音や活動内容、会員同士の繋がりなどを知らせてくれた素晴らしい機会となりました。 今後、関防会会員として外部から国防を支えるべく積極的に活動して参りたいと思います。 改めまして、自衛隊退職後に再び自衛隊と関わる機会をくださった皆様とのご縁に深く感謝いたします。(会員 東野耕治)

6月16日昼、晴天の中、舞鶴教育隊新隊員への激励を行いました。高橋会長、浅尾支部長の挨拶の後、激励品として、経口補水液五百人分を贈呈致しました。 その後、舞鶴市内において、「関西防衛を支える会北部支部発足総会」を開催しました。総会に於いては特別顧問2人をはじめ舞鶴水交会長他地方議員のご来臨を賜る中で始められ、支部会則、役員等、審議議案は出席者全員から承認頂き、滞りなく終えることができました。 総会後は、新入隊員激励に参加された大阪方面からの会員も合流し海上自衛隊舞鶴地方総監部幕僚長 海将補 櫻

### 北部支部だより



八尾 駐屯地

陸上自衛隊八尾駐屯地 町「河内音頭」天草よしは、大阪府の八尾市に所在しています。八尾市のイメージは「若(ほう)」「旭ボンス」なイメージは「ものづくり」のイメージを想像される方もいらっしゃるかと思います。 八尾空域と広域港と広域防炎拠点に隣接し、災害時には物資輸送の重要拠点となりうる八尾駐屯地は、おっちゃん、おばちゃんを始めとする地域の方々の応援を励みに、今日も全隊員が元気づけ士気旺盛に任務に邁進しています。



関防会北部支部発足総会



舞鶴地方総監部幕僚長講話



約500人の舞鶴教育隊新隊員を激励

### 基地・駐屯地だより

部方面航空隊と、第3師団隷下の第3飛行隊等が駐屯し、航空偵察、空中機動の任務を遂行するとともに関東から九州地区の東西を結ぶ中継基地としての役割を果たしています。 近年、駐屯地を一般開放する行事はコロナ禍のため中止していましたが、3年ぶりとなる夏の花火大会、中部方面航空隊が創設60周年を迎える秋の創立記念行事では、今後のコロナの状況にもよりますが、多くの方をお迎えして開催できるように現在計画を進めているところです。 約600人の隊員が勤務する小さな駐屯地ですが、義理人情にアツい河内のおっちゃん、おばちゃんを始めとする地域の方々の応援を励みに、今日も全隊員が元気づけ士気旺盛に任務に邁進しています。

### 編集 後記

航空自衛隊小松基地に拠点を置く飛行教導群の新司令に小城毅泰一佐が3月14日付で就任されました。飛行教導群は、空自の精強さを維持、より高めるために非常に重要な役割を担っていると思います。同群所属のF15戦闘機の墜落事故を受けて止まっていた訓練も再開しています。事故原因の全容究明はまだこれからとはいえ、新司令の下、ようやく本格的な再始動ができたことは良かったと感じます。 事故直後の2月には日本の守りの穴の有無を確認するかのようロシア機が日本海に飛来していました。中国は相変わらず侵入を繰り返しています。更に

ロシアのウクライナ侵攻は収まる気配もなく、国際情勢は緊迫しています。地政学的条件の違いはありますが、同じようにロシアとの国境を有する日本にとっても決して対岸の火事ではありませぬ。ウクライナの状況を目の当たりにして、ほんの少しずつですが日本国民も目が覚め始めたのではないかと感じているところです。 私はまだまだ国防に関する知識も拙いものではありますが、関防会に入会して多くのことを学ばせていただき、若輩ながら理事を拝命いたしました。これから微力ながら関防会、そして自衛隊の方々、ひいては国防のお役に立てるよう頑張ってまいります。 よろしくお願いたします。(理事 西山夏生)

### 会員の声募ります

事務局へメールでお送り下さいメールのない方はご郵送でもどうぞ

関西防衛を支える会 メールアドレス登録のお願い 関防会ではメールマガジンを開設致しています。関防会の活動内容、行事参加のご案内、また自衛隊の諸行事のご案内等をメールで皆さまにお届けいたします。 会員以外の方も登録いただけます。 ただけます。



ホームページ フェイスブック

### ご入会のお願い

関西防衛を支える会では会員募集中です。ご入会ご希望の方は下記口座にお振り込み下されば、会員となります。

- 三井住友銀行守口支店 普通口座 1261314
- 口座名 関西防衛を支える会 郵便振り込み
- 口座番号 00960-2-137035
- 口座名 関西防衛を支える会
- 一般会員 年会費 3,000円
- 維持会員 10,000円
- 法人会員 20,000円
- 学生会員 1,000円

学生会員 大歓迎 (高校生以上 32歳未満)

ホームページからの申し込み可 http://kanboukai.jp/ \*1口以上何口でも申し受けます。 銀行振り込みの場合は当会まで住所などご連絡下さるようお願いいたします。 (または振込用紙に電話番号を記入して下さい) \*会計年度は4/1~3/31です

## 陸・海・空 自衛官募集



国家を守る、公務員。

陸海空自衛官 18歳~33歳未満まで